

## 支所発地域力向上支援金事業実施報告書（自己評価）

令和8年3月31日

事業実施地区	小田切地区
事業名	地域住民との交流の場づくり
団体名及び 代表者名	(団体名) 特定非営利活動法人翔和学園 長野翔和学園 (代表者名) 理事長 望月昭彦 (連絡先) ██████████

## ■事業概要（選考委員会の助言を含む）

<p>令和元年度より、「地域住民との交流の場づくり」として事業を開始している塩生甲の東屋に設置するテーブルを4台製作した。</p> <p>令和元年度に東屋整備に着手、新型コロナウイルスの影響で中断したが、令和3年度に本体を完成させた。令和4年に地域の方に向けて、東屋本体完成披露宴を行い、令和5年度は地域の方や訪れた方が休憩できる椅子などの設置並びに公園の整備を行った。令和6年度はテーブルを製作し設置したことにより更に憩いの場としての利便性が向上した。</p> <p>今年度は、東屋の利用促進を図るため看板（W2400×H900）を設置し、利用者が場所を認識しやすく、より活用される環境づくりを行いました。</p>	<p>【事業完了日】 令和8年3月31日</p> <p>【総事業費】 187,000円</p> <p>【補助金額】 162,000円</p>
--	--

## ※活動状況や備品の表示がわかる写真・成果物等を別途添付

## ■事業効果（目的の達成度・地域への貢献度等について）

<p>看板の製作が終わり、3月18日に翔和学園の東屋に設置まで行えた。</p> <p>より利用してもらいやすくなる看板を設置。</p> <p>地域の方や東屋の利用者に意見を聞いたり、看板のデザインを自分たちで考え、製作していただく会社へ意見を聞きに行った。学生は意欲的に取り組み、連携を深めることができた。</p> <p>看板を設置したことでより多くの人々が認識し、休憩や交流のできる場となりました。</p>
--

※参加人数等、数値化して効果を表せるものがあれば数値化したものも加えて記載をお願いします。

## ■事業評価（該当欄に○）

	予定を上回る	予定どおり	概ね予定どおり	予定を下回る
事業の内容		○		
事業の効果			○	
特記事項 (評価理由等)				

## ■今後の取組予定

翔和学園の東屋で地域の方や訪れた方と交流できるイベントを実施していきたい。
---------------------------------------

(3) 事業の実施状況を写した写真及び実施状況を表す資料



看板の内容を検討するために長野駅周辺にある看板にはどのような役割があるのかを見に行った。



実際の東屋の利用者や地域の方にアンケートを取った。

その情報をもとに看板の内容を検討したり、検討した内容を支所に聞きに行ったりしました。



看板会社(アドISINGロ様)に学生が作ったデザインを見てもらいました。

看板の色のバランス、東屋の名前や地図をデザインする案をいただきました。



設置、3月20日には看板のデザインを地域の方にお披露目しました。

# 支所発地域力向上支援金 事業評価(小田切支所)

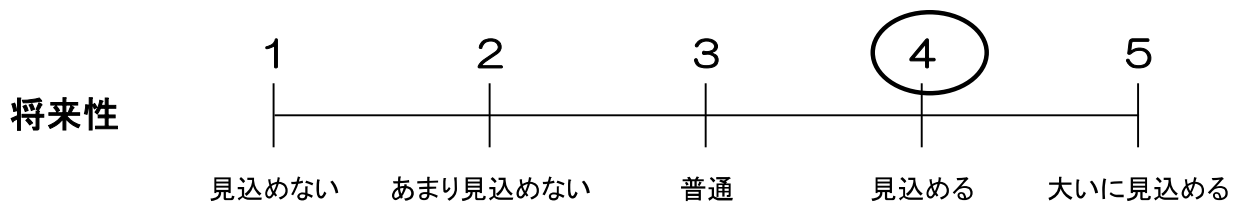
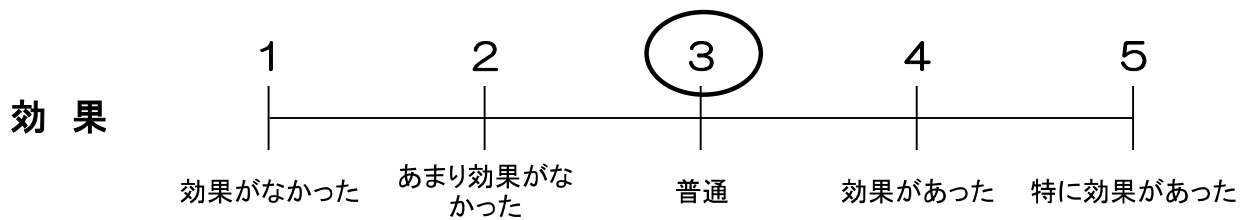
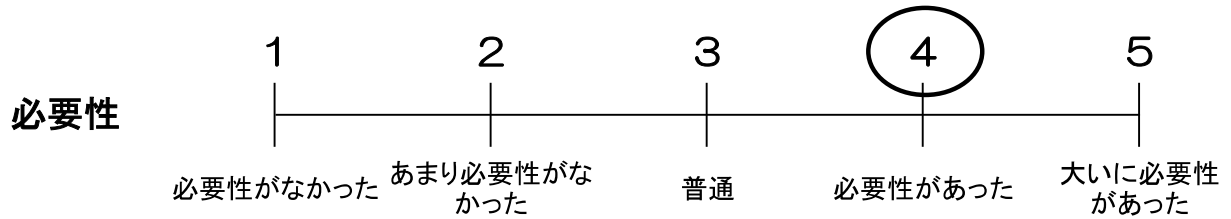
令和8年3月31日

<b>事業名</b>	地域住民との交流の場づくり(看板の設置)
------------	----------------------

<b>団体名</b>	NPO法人 翔和学園 長野翔和学園
------------	-------------------

評価項目 (選考基準の視点で評価)

<b>事業区分</b>	環境整備活動
-------------	--------



<b>支所長の総合評価 (次年度以降の活動への助言等)</b>
地区内外から訪れた方が休憩している姿を幾度か見かけることがあり、これまで計画的に東屋、椅子、テーブル、そして今回看板と整備してきた成果が徐々に表れてきている。次年度以降は、この憩いの場を活用した地域住民と触れ合う事業を企画し、世代間交流を図っていただきたい。